

各 位

一般財団法人アジア太平洋研究所
所 長 宮 原 秀 夫
代表理事 小 浪 明

『*Kansai and the Asia Pacific, Economic Outlook:2020-21*』（英語版：関西経済白書）
解説動画 配信のご案内

拝啓 平素は当研究所の事業にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

一般財団法人アジア太平洋研究所（APIR）は『アジア太平洋と関西』関西経済白書(日本語)を、毎秋に刊行して参りました。その日本語を基に、新たに編集し英訳した『*Kansai and the Asia Pacific, Economic Outlook:2020-21*』を4月に刊行致します。

例年、APIR では発表会を開催し、本書の内容をみなさまにご説明する場を設けて参りましたが、今年も昨年につき、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大への対策により、発表会の開催を控えさせていただくこととなりました。そこで、本書の概要説明を収録しました動画をWEBサイトに掲載するかたちでみなさまにお届けいたします。尚、本解説は英語による解説とさせていただきます。

今年の白書は「パートⅠ アジア太平洋の政治経済の現況と課題」、「パートⅡ 関西経済の直面する問題と回復へのシナリオ」及び「パートⅢ COVID-19 クロノロジー」の3部にて構成されております。パートⅠでは、COVID-19を含め、世界で注目されている諸リスクを検討し、アジアのグローバル・バリューチェーンを取り上げてリスクへの対策と課題を分析しています。パートⅡでは、パートⅠの分析に依拠しつつ、日本・関西経済の回顧と予測、ポストコロナを見据えた関西経済とインバウンド戦略、スポーツ産業の現状と課題等について説明しています。また、パートⅢでは、COVID-19感染拡大の動態と、日本と世界主要国の対応状況をクロノロジーとしてまとめています。

本書は、民間企業のみならず、駐日公館、官公庁・自治体、大学を中心に活用されておりますが、アジア太平洋諸国・地域と日本、関西との一層の経済交流を願う多くの方々に、是非ご視聴いただきたいと思っております。

敬具

記

配 信 日 令和3年4月26日(月) (予定)

掲 載 場 所 一般財団法人アジア太平洋研究所 WEBサイト上

配 信 内 容 『*Kansai and the Asia Pacific, Economic Outlook: 2020 -21*』解説

ご挨拶 本多佑三 アジア太平洋研究所 研究統括

解 説 後藤健太 アジア太平洋研究所 主席研究員 (パートⅠ)

稲田義久 アジア太平洋研究所 研究統括 (パートⅡ、Ⅲ)

『*Kansai and the Asia Pacific, Economic Outlook:2020-21*』の特徴

主要なトピックス

【第Ⅰ部】 アジア太平洋パート

- ① 転換期を迎えるグローバリゼーション
- ② コロナ不況下の米国経済
- ③ 世界経済を蝕む貧困問題の現状
- ④ 再編進む国際貿易体制と東アジア新興国の開発戦略
- ⑤ コロナ禍に揺れるアジア経済とグローバル・バリューチェーン
- ⑥ アジアの成長センターの変遷

【第Ⅱ部】 関西経済パート

- ① 日本経済の現況と短期予測
- ② 関西経済の現況と短期予測
- ③ 対中貿易構造と関西経済
- ④ 災害リスク管理の視点からの社会システムのあり方
- ⑤ 産業構造からみた地域創生 – 各地域の強みと課題
- ⑥ スポーツと関西経済 – 産業連関表による分析
- ⑦ 関西企業の特徴と強み
- ⑧ 新型コロナウイルスの関西経済への影響
- ⑨ 今後のインバウンド戦略 – ポストコロナを見据えて

【第Ⅲ部】 COVID-19 クロノロジー

